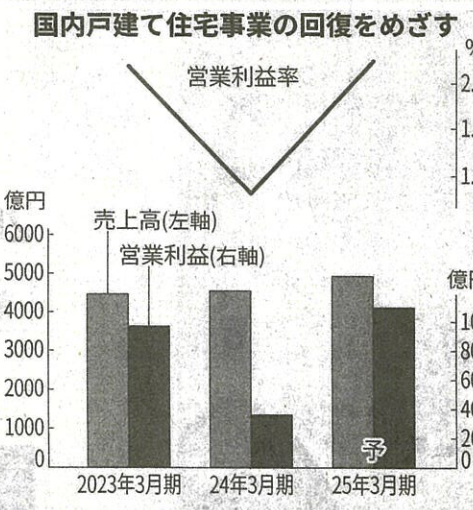


利益率、前期比1.5ポイント上昇へ

大和ハウス工業が販売コストを抑えやすい建売住宅へのシフトを鮮明にしている。九州で先行していた取り組みを全国に広げ、2025年3月期は戸建て事業の利益率を2.2%と前期比1.5ポイント高める計画だ。主力としてきた注文住宅の販売が減っており、本業である戸建て事業の立て直しを急ぐ。

従来、顧客の要望に沿って設計する注文住宅を強みとしてきたが、23年に建売住宅を中心とする戦略へ転換した。注文住宅と比較して設計がある程度共通化されており、顧客との商談回数を減らす、販売の効率化につながるためだ。

24年3月期の戸建て住宅事業(国内)の営業利益は36億円と前の期比で



大和ハウスは建売住宅の販売を増やし、低迷する戸建て住宅事業の利益率を改善する

24年3月期は「コスト」や「タイプ」を重視する若者も増え「熱量を傾けて住宅をつくる過程を楽しむ人が少数派になってきた」(LIFULL HOME、S総研の中山登志朗チーフアナリスト)ことなども響いた可能性がある。

注文住宅の販売が落ち込む一方で、建売住宅は24年3月期に1760戸と12%増加した。建物の販売単価は2470万円と注文住宅(4900万円)と比べて低いものの、土地もあわせて販売戸数を増やせば売上高を維持できるとみる。設計や営業のコストを抑えられる

【第三種郵便物認可】

プロのアーティスト向け画材の大手メーカー、ホルベイン画材(大阪府東大阪市)は段ボール製のキャンバスを今夏から販売する。木枠に布を張った従来品に比べて価格は半分程度に抑えた。画用紙と異なり、額縁に入れなくても簡単に飾れる。趣味で絵画を鑑賞したり描いたりする人が減るなか、手軽さをテコに愛好家の裾野を広げる。

商品は「タンボールキャンバス」という名称で、A4サイズ(21×30センチ厚さ3センチ)とスクエア(21×21センチ厚さ4.5センチ)の2種類をそろえる。それぞれ白地と黒地があり、価格は3個セットで

キャンバス 段ボールで



段ボール製のキャンバスは壁や棚にも簡単に飾れる(写真は原田とおるさんの作品)

不良品特定 AIが学習

フォクスター 画像認識の新装置

画像処理装置などを手掛けるフォクスター(大阪府豊中市)は、撮影した画像を人工知能(AI)で認識させて不良品などを自動で特定するための装置の新製品を開発した。

従来、収集が難しい不良品の画像を生成し、AIが学習する機能などを盛り込んだ。画像認識の精度を高められる製品をそろえ、顧客を開拓する。AIが画像を認識し撮影した製品を見極めさせることは難しい。新装置は、不良品の画像はあらかじめ不良品と分けずるための画像データを学習させておく必要がある。ただ、良品の画像はあっても不良品の画像は少なく、AIに学習させることは難しい。新装置は、1つの画像に写る複数の製品の種類ごとに区分して認識する機能なども取り入れた。5月中旬にも販売を始め、価格は150万〜500万円になる見込みだ。

フォクスターはキーエンスの出身者らが2017年に設立した。メーカーの検査作業などに使う画像処理装置や、工場や物流倉庫での作業を効率化する自動搬送機器の開発を手掛ける。画像処理装置は18年から自社製品の販売を始めた。2500社以上の企業に計800台超を納めたという。

管理駐車場 スマホで検索

こうべ未来都市機構 スマートフォンで駐車場の検索や契約をできるようにする

神戸市の外郭団体、こうべ未来都市機構は市内17区で駐車場の検索や契約を可能にする。運営を効率化する。月決1日や1週間単位で貸しめ駐車場の管理自動化を、出す仕組みも取り入れる。手掛けるハッチ・ワークなど利便性を高め、稼働率の向上につなげる。

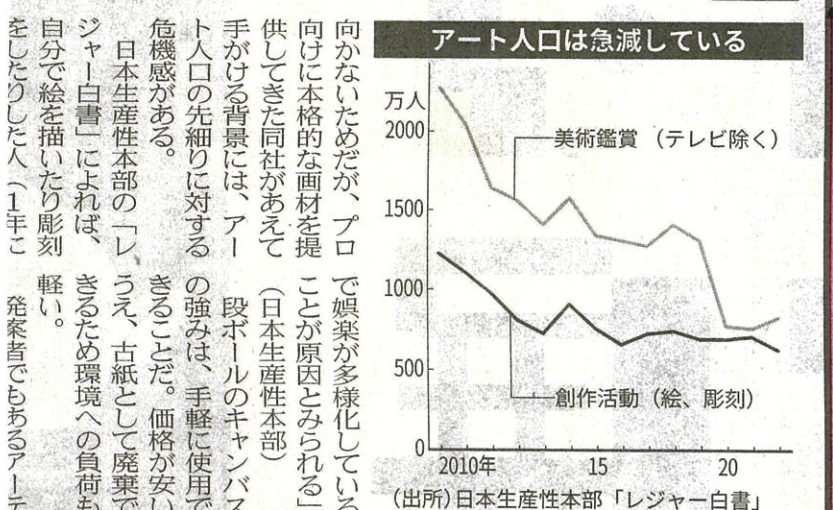
神戸市の外郭団体、こうべ未来都市機構は市内17区で駐車場の検索や契約を可能にする。運営を効率化する。月決1日や1週間単位で貸しめ駐車場の管理自動化を、出す仕組みも取り入れる。手掛けるハッチ・ワークなど利便性を高め、稼働率の向上につなげる。

こうべ未来都市機構 日・週単位で貸し出し

従来は駐車場の利用希望者がこうべ未来都市機構に直接問い合わせる手続を続けていたため煩雑な面もあった。こうべ未来都市機構は、空きの区画が出た場合に次の借り手を見つけていくという課題があった。検索サイトやQRコードがついた看板から空き状況を確認し、オンライン上で手続きを進めれば最短30分ほどで契約が結べるとしている。

ハッチ・ワークが自治体の外郭団体と契約するのは初めてという。神戸市内にある約3000台の駐車場を対象とする。

アート人口は急減している



向かないためだが、プロで娯楽が多様化している。向けない本格的な画材を提案してきた同社があえて「(日本生産性本部)手掛ける背景には、アート人口の先細りに対する危惧がある。日本生産性本部の「レジャー白書」によれば、自分で絵を描いたり彫刻をしたりした人(1年ご

理施設 ロボで点検

クボタが実証実験 米ボストン社製を活用

を点検する実証実験を始めた。群馬県の水質浄化センターに1台を導入し、電流計や圧力計などのメーターに表示された数値をロボットに備え付けたカメラで撮影して人工知能(AI)が抽出する。作業の効率化をめざす。

子会社のクボタ環境エンジニアリング(東京・

関西 決算トピック

脱炭素技術導入 M&Aも視野

「事業成長へ足りない」が、M&A(合併・買収)も視野に入れる」と意気込むのは、バルブ製造、オーケーエムの奥村晋一社長。アンモニア燃料の船舶向けな脱炭素を意欲した製品の開発を急ぎ、外部からの技術導入も辞さない構えだ。2031年3月期に

20日のオンライン説明会では中期経営計画で掲げた25年3月期の売上高目標を2割減の101億円に下方修正した背景を「海外企業との激しい価格競争が続く」などと説明した。生産性向上も遅れ気味だと認め、こうした現実も踏まえて中長期ビジョンを実現するため「26年3月期からの第2次中期経営計画を策定する」と前を向いた。

北大阪急行、落とし物検索にAI

北大阪急行電鉄は20日、人工知能(AI)を活用した落とし物検索サービスを提供すると発表した。6月17日から緑地公園―箕面野間の各駅で、スマートフォンアプリの「Find」(ファインド、東京中央)が開発した「落とし物クラウドfind」を導入する。落とし物のデータベースに、対話アプリ「LINE」から24時間いつでも問い合わせができるようにする。電話での対応を効率化するとともに、落とし物の返還率向上をめざす。駅員や乗務員が見つけた落とし物を、各駅のタブレット端末で写真撮影してデータベースに登録する。乗客がLINEアカウントから問い合わせると、findのオペレーターがチャットで落とし物の色や形状などを聞き取り、AIでデータベースから検索する。落とし物クラウドfindは、鉄道会社ではJR九州や京浜急行電鉄などで使われている。

マーケティング、にも社史は有効です